

長野スクールデザイン（NSD）実施事業

高校教育課
高校再編推進室

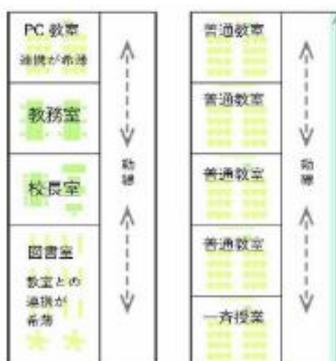
1 事業目的

個人と社会のウェルビーイングの実現を目指し、従来の知識・技能の習得を中心とした一律一斉の教育から、一人ひとりに合った個別最適な教育への転換が求められている。これからの学校施設には多様な学習スタイルを支援するための学習空間やゆとりある快適な生活空間が必要となる。このため、高度経済成長期の考え方を背景とする整備プロセス（校舎の標準設計を基にした画一的な整備）を見直し、生徒や地域の思いに沿いながら、新しい時代の学校に求められる機能や多様性等を施設に反映する仕組みを採り入れる。

<目的のイメージ>

○これまで

標準設計を基にした画一的な整備
(例：画一的な教室が並ぶ、移動のためだけの廊下)



○これから

学校ごとに、学びや生徒・地域の思いに沿いながら、各学校の求める機能や多様性を施設に反映させた整備



2 事業内容

「構想・計画」「設計」「工事」と進む施設整備の行程の中で、施設基本計画策定を、真に必要な施設整備を検討するための重要な過程と位置付ける。

第2期高校再編における統合新校（学科転換校含む）の施設整備に当たり、真に必要なかつ十分な機能を備えた施設となるよう、様々な関係者の意見を取り入れながら施設整備基本計画を検討・策定する。

3 対象校（仮称）

[継続] 須坂新校、佐久新校、赤穂総合学科新校

[新規] 中野総合学科新校

4 令和6年度予算額 1億3,395万8千円